

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1
結婚支援の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 子ども・子育て支援課長 多根 純 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	結婚対策強化事業	
目的	(1) 対象	結婚を願う独身男女
	(2) 意図	結婚を願う独身男女の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める
事業概要	結婚を望む男女の願いを叶えるため、出会いのきっかけづくりをする縁結びボランティアを「はびこ」として登録し、その出会いの場づくりを支援するとともに、「はびこ」の広域マッチング支援など結婚支援を一元的に実施するため「しまね縁結びサポートセンター」を設置・運営する。地域で実施される出会いの場づくりの事業について、市町村を通じて必要な経費を助成する。家族の意義や命の大切さ、妊娠出産などの医学的知識やライフプラン設計など若年層に対する講座のほか、結婚を社会全体で応援する気運を醸成するための広報を実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	しまね縁結びサポートセンターを通じた結婚数	目標値	70.0	90.0	110.0	130.0	150.0	件
	式・定義	縁結びボランティア「はびこ」を通じて結婚した相談者数	実績値	80.0	66.0	101.0			
			達成率	114.3	73.4	91.9	-	-	%
2	指標名	しまね縁結びサポートセンターを通じた登録者数	目標値	700.0	900.0	1,100.0	1,300.0	1,500.0	人
	式・定義	センターに相談登録した人数（累計）	実績値	1,182.0	1,621.0	1,624.0	1,670.0	1,700.0	
			達成率	168.9	180.2	147.7			%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	89,490	103,109
うち一般財源 (千円)	75,317	88,664

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・島根県の平均初婚年齢は男性30.4歳、女性29.1歳（27年度人口動態統計による）で、男女とも過去から少しずつ上昇し、晩婚化が進んでいる。
- ・島根県の50歳時点での未婚率は男性23.2%、女性11.1%（27年度国勢調査による）で、男女とも5年前と比較して3ポイント強の増加がみられ、未婚化が進んでいる。
- ・いずれは結婚しようとする未婚者（18～34歳独身者）は9割弱（27年度出生動向基本調査による）を占める一方で、未婚理由の1位は「相手がいらない、めぐり合わない」、2位は「経済的に余裕がない」、3位は「自由さ、気楽さを失いたくない」（27年度県内独身者アンケート調査結果による）であり、独身者に対する出会いの場の支援が求められている。
- ・従業員への結婚を応援する「しまね縁結びサポート企業」は222社（団体）となり、前年度より約1.6倍増加した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・29年度の「はびこ」による出会いの場（お見合い）の設定数は前年度より169件増加の1,639件、交際件数は前年度より45件増加の407件となり、「はびこ」を通じた年間成婚数が、19年度に制度を開始して以降、29年度に初めて100件を超え、しまね縁結びサポートセンターによる「はびこ」への支援が「はびこ」活動の活性化をもたらした。成婚件数の増加に寄与した。
- ・しまね縁結びサポートセンターへの相談件数は3,672件と、前年度より約1.3倍増加し、周知・活用が進んだ。
- ・鳥取県と連携し、インターネット動画再生サイト、映画館広告等によるキャンペーン、フォーラム、カップル来店割引協賛店舗の募集・運用開始を実施し、結婚に前向きになる雰囲気作りや結婚を応援する機運醸成に寄与できた。
- ・助産師による小中高校への出前講座「生の楽習講座」に、29年度から実際の乳幼児親子が参加する仕組みとし、128組の参加を得て、ふれあい体験により講座の充実を図ることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・縁結びサポートセンターへの登録者が増え、はびこによる出会いの場の設定活動も増えている一方で、出会いの場の提供等のサービスを十分に受けられない登録者もいる。
- ・40歳代以上の登録者が、あまり成婚に至っていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・現在は、登録者ははびこから相手を紹介されるのを待ち、紹介に応じることで出会いの場の設定に至る仕組みとなっている。
- ・はびこはボランティア活動であり、個人個人のマッチング活動にかける熱意や熟練度も様々な状況にある。
- ・出会いの場の設定に登録者の意思が直接反映されないことから、出会いの場の提供等のサービスを受けられない登録者は、イベント参加等により出会いの場を求める支援しか用意できていない。
- ・30歳代になってから登録する者が多く、20歳代など若年層の登録が低調となっている。

③原因を解消するための「課題」

- ・より多くの出会いの場を提供できるよう、登録者自らが相手にお見合いの希望を申し込む仕組みを導入し、広く活用してもらう必要がある。
- ・また、「はびこ」によるマッチング機能の強化のため、積極的に活動いただける「はびこ」の更なる増員を広域で進めるとともに、研修の充実等により、「はびこ」全体のレベルアップを図る必要がある。
- ・将来、結婚を望んでいる若年層に対して、早い段階からの支援が功を奏して成婚に至るよう、働きかけを強化する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・増加する相談者の希望に応えるため、お見合い相手を自己検索できるマッチングシステムを導入する。導入後も利用者の利便性を高めるよう努めていく。現行の「はびこ制度」の持つ強みを活かしつつ、マッチングシステムの良さと相乗効果もたらされるよう、相談者の特性に応じた幅広いニーズに応える仕組みを確立していく。
- ・「はびこ」の東京、大阪など都市部での配置も検討しながら増員を図り、はびこ各会各地区の状況や課題の解決を目指した研修を実施していく。
- ・ライフプランを早いうちから設計し、結婚に向けて行動してもらえよう、例えば大学生なども含め若年層への情報発信や支援を強化していく。
- ・増加した「しまね縁結びサポート企業」担当者を対象とした研修会のほか、企業間の交流が効果的に進む手法を模索していく。
- ・支援体制面では、市町村の結婚支援にばらつきがあり、市町村のはびこ活動への支援が活性化につながる事例があることから、市町村の取り組み強化を図る。また、しまね縁結びサポートセンターがノウハウを蓄積していけるよう体制強化を目指し、ふるさと島根定住財団等と連携して、Uターン施策と一体となった事業を展開していく。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	結婚対策強化事業
---------	----------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	メールマガジン「恋みくじ」の登録者数	目標値	3,300.0	3,600.0	3,900.0	4,200.0	4,500.0	人
			取組目標値						
	式・定義	センター(県)が配信する出会いイベント情報メールの登録者数(累計)	実績値	3,093.0	477.0	1,941.0			%
			達成率	93.8	13.3	49.8	—	—	
4	指標名	出会いイベント等の実施回数	目標値	70.0	79.0	86.0	93.0	100.0	回
			取組目標値				110.0	110.0	
	式・定義	県が支援して市町村(地域)や「はびこ」が実施する年間開催回数	実績値		137.0	110.0			%
			達成率	—	173.5	128.0			
5	指標名	縁結びボランティア「はびこ」登録者数	目標値	180.0	210.0	240.0	270.0	300.0	人
			取組目標値						
	式・定義	「はびこ」登録者数(累計)	実績値	176.0	211.0	232.0			%
			達成率	97.8	100.5	96.7	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	